

科目区分	基礎分野	科目名	哲学	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第1学期
担当講師	非常勤講師				
科目目標	1. 我々が生きるこの時代、世界史的な諸問題が即、日常生活レベルと通底していることが極めて特徴的であり、今こそクールな情熱と豊かな総合知としての哲学が求められている時代は他にない。豊富な思考資料の下、豊かな試行錯誤を心掛けたい。				
授業概要	<p>個体発生は系統発生を要約して繰り返す(ヘッケル)と言われるように、個人の精神史と世界のそれとは局面はどうであれ関連している。世界内存在としての自己と諸問題、そして哲学的知の拡がりに思いを馳せる。西洋哲学史を歴史的に鳥瞰しつつ哲学と時代を考察する(時代を生きること 哲学と人生)。</p> <p>第1回 哲学とは何か 1) 個人史としての哲学(哲学概説) 学習到達目標: 自己を形成している精神内容を見つめる眼と他者理解の態度を涵養する。 2) 哲学の根源・・・さなざまな哲学知の在り方 学習到達目標: 哲学知は「人間存在」の在り方と不可分であることを理解する。</p> <p>第2回 哲学とは何か 1) 現代世界の諸問題と哲学・・・存在と思考 学習到達目標: 総合知・世界観としての哲学の特性を考える。</p> <p>第3回 西洋哲学史概説(ギリシャ哲学) 1) 哲学以前・・・神話的世界 学習到達目標: 哲学と科学的思惟の不可分性と科学的思惟を産出したPhilosophyについての理解を深める。</p> <p>第4回 西洋哲学史概説(ギリシャ哲学) 1) ソクラテス以前(イオニア自然哲学) 学習到達目標: 歴史的変遷によりその時代に応じた哲学思想が誕生し、時代の役割を果たしたことを理解する。</p> <p>第5回 西洋哲学史概説(ギリシャ哲学) 1) ソクラテス・プラトン・アリストテレス 学習到達目標: 歴史的変遷によりその時代に応じた哲学思想が誕生し、時代の役割を果たしたことを理解する。</p> <p>第6回 世界・人生観としての哲学 1) ヘレニズム哲学(特にエピクテトスに焦点) 学習到達目標: 個と世界、人生と教養について考える。</p> <p>第7回 世界・人生観としての哲学 1) 医療者&世界内存在として自己を考える 学習到達目標: 哲学的思惟することが医療を含む現代社会の諸問題に対してどのような意義を有するのかを考える。</p> <p>第8回 終了試験</p>				
授業の進め方	授業概要に沿って授業を進める。				
履修のポイント、留意事項					
テキスト	<p>教科書: なし 参考書: 「ソフィーの世界」 ヨーステン・ゴルデン 著 NHK出版 「私の哲学入門」 木田 元 著 講談社学術文庫 「大人のための哲学授業」 西 研 著 大和書房 「中学生からの哲学「超」入門」 竹田 青嗣 著 ちくまプリマー新書</p>				
評価方法・配点	<p>終了試験(100点)を主たる評価とし、レポートと受講態度を加味する。 意見発表など積極的に授業参加した者に対しては評価する。</p>				